

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	四天王寺大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	シテンノウジダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F127310108125
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	大阪府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ、スクールサポーターⅠ
	学部・研究科等名	教育学部
	担当教職員名・役職	木村 雅則：教授、西岡 智：准教授、奥野 喜之：准教授、堂上 雅三：准教授、辻本 光夫：非常勤講師、黒岡 恭子：非常勤講師、齊藤 仁保：非常勤講師
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	159
	受入企業等数	131
	受入企業等名	羽曳野市立古市小学校、藤井寺市立西小学校、他129校
	インターンシップの分類	1.長期（概ね1か月以上）インターンシップ 6.低学年（大学1年次～2年次程度）からのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類（記述欄）	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	学校における教育活動全般について学ぶ体験活動（授業、学校行事、クラブ活動、校外学習、図書室運営、教材準備等の補助）。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ（学部2年次夏学期）：2単位 スクールサポーターⅠ（学部2年次冬学期）：1単位 活動体験を通じ、現場の先生方の実践から学ぶと共に、子どもの実際の対応について学ぶことを目標に実施している。また、教職に対する自己の「強み」と「弱み」について認識を促す。

項目	確認事項	届出内容	
<b>要素③</b>	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している	
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容		
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている	
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容		
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容		
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	1.学校現場の基礎知識や守秘義務等の個人情報管理について、また事前訪問におけるマナー指導 2.教育委員会指導主事による講義 3.学校を事前訪問して、体験参加前のオリエンテーション	
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	1.自らの体験を整理して、気づきを深める（自己評価） 2.報告会において、教育委員会指導主事による講評	
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	元小学校長の巡回指導担当教員が受入校を訪問して、学生の活動状況や教育現場についての情報交換等を実施している。また、学生と面談を行い、体験中に発生した課題等の相談・指導にあたっている。	
	<b>要素④</b>	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
		4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している
		4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
4-3.上記回答内容に関する詳細		「GoogleForms」を利用して、学生の変容や課題を把握している。報告会における事後指導にて、参加学生全員に対しフィードバックを実施することで、次年度教育実習へのモチベーションアップに資するような指導を行っている。	

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	週1回金曜参加：夏学期10回、冬学期13回
	5-3.上記回答内容に関する詳細	「インターンシップ」 事前指導2回、事前訪問1回、体験参加10回、事後指導1回、報告会1回 「スクールサポーターI」 体験参加13回、事後指導1回、報告会1回
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
6-3.上記回答内容に関する詳細	事前にインターンシップの趣旨等について、教育委員会担当者を招聘して学内にて説明会を実施している。意義や運営方法をご理解いただき、かつ学校現場のニーズに沿ったプログラムを構築している。	
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://ibunet.shitennoji.ac.jp/up/faces/up/km/Kms00802A.jsp">https://ibunet.shitennoji.ac.jp/up/faces/up/km/Kms00802A.jsp</a> <a href="https://ibunet.shitennoji.ac.jp/up/faces/up/km/Kms00802A.jsp">https://ibunet.shitennoji.ac.jp/up/faces/up/km/Kms00802A.jsp</a>
問い合わせ先	大学等名	四天王寺大学
	担当部署名	教職教育推進センター
	担当者役職名	主任
	担当者氏名	藤田有宏
	電話番号	072-956-5214
	メールアドレス	<a href="mailto:kyoshoku@shitennoji.ac.jp">kyoshoku@shitennoji.ac.jp</a>